

業種別景況予測

平成29年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「4月からのアクリルニトリル高騰による原綿・原糸の値上げもあり良くなりそうな気配はない」「全くの前途不透明感にあり、困っている状況が続いている」とのコメントが寄せられた。			
織維 ファッション			「卸や小売はあまり在庫を持ちたくないという声があるため、小ロットで対応するなど小回りの利くようにし取引先を増やしていく」「技術力、企画力、営業力、経営力、この4つの要素をうまく機能させ、待ちの状態ではなく、アンテナを張って提案していくことが要求される」とのコメントが寄せられた。			
工業			「復興需要は一巡したが、関東方面は良好に出荷している」「仕入価格、人件費などはどんどん上昇したが売上高も上昇しているので利益はなんとか確保できているが抜本的な改善はされていない」「コスト上昇等を製品価格に転嫁できるように努力している」とのコメントが寄せられた。			
建設			「同業社が廃業する例が少ない今はがまんの時期である」「年度末を過ぎて他社との価格の競争が激しくなってきた」「人件費や外注費などの上昇で利益の確保が難しい」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「大阪市内の同業社からスペースの問合せが増えている」「新規取扱品の問合せも数件あり、将来を考え受託を検討している」「燃料価格が上昇傾向、労働時間削減、ドライバー等の若年労働力の確保が喫緊の課題となっている」「輸出处向け貨物は好調」「国内は出荷在庫共に良くなっている話はない」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			不動産業からは「倉庫の賃貸から最近アパートへの建て替え提案が増えている」。土業からは「件数は増加しているが、単価は下向き傾向」「建設業許可申請が多くなってきた」「遺言公正証書作成も相変わらず多い」「長年の実績よりも価格ありき」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「お菓子を必要最低限の数のみ購入される方が増えている」とのコメントが寄せられた。日銀の短観によると全国的にはやや持ち直しているが、当市では前期より売上の減少、仕入価格の高騰で利益が圧迫されている様子。			
サービス業			理容業からは「1月は売上減少で、2月3月上昇！徐々に上昇してほしい」。飲食業からは「泉大津駅前の発展がすばらしい」「レトロの店と言われて客も増加している」。教育業からは「少子高齢化により顧客の減少による先細り感がある」。旅行業からは「安売りしている会社への不信感が広がっている」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成29年5月 ●調査対象企業 259社 ●回答数 110社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 中小企業相談所 TEL 0725-23-1111